

3面からつづき

区民の力で築く元気に
輝くまち

中小企業および雇用支援の充実

中小企業支援では、継承と革新をテーマとした「江東ブランド推進事業」は、認定企業34社が連携して活動を行い、展示会や工場見学等により、広くPRを行うとともに、国内外の販路拡大に向けて展開してまいります。

雇用支援では、「こうとう若者・女性しごとセンター」において、女性や新卒学生等の若者を中心とする求職者と中小企業とのマッチングによる採用と、その後の人材の定着支援を推進してまいります。

創業支援では、「地域クラウド交流会」を開催し、起業家の応援や企業の交流等を通じた地域の活性化や、2020年に向けたイノベーション等の気運醸成を図ってまいります。

商業振興では、商店街や商店に対する多角的な支援を行い、「江東お店の魅力発掘発信事業ことみせ」の外国人向け情報発信等の充実を図ってまいります。

オリンピック・パラリンピック
に向けた環境を整備

2020年に向けて区が設置している公共サインの統一化や多言語対応を図るなど、わかりやすいサインに再整備するための準備を進めてまいります。

さらに、スポーツ振興では、「江東区スポーツ推進計画」に基づき、区民の誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる環境の充実を図ってまいります。

観光振興では、「江東区観光推進プラン(後期)」に基づき、江東区観光協会と連携して区内外に本区の魅力を発信し、区全体の観光振興を積極的に進めていくとともに、オリンピック・パラリンピック開催に向け、江東区文化プログラム実施に関する基本的な方針を策定し、本区独自の文化プログラムを展開してまいります。

図書館の効率的な運営

図書館では、より効率的な運営を行うため、平成31年度からの指定管理者制度導入に向けた準備を開始し

ます。また、区民サービス向上のため、江東図書館において、10月より試行として月2回の月曜開館を実施します。



▲月曜開館が試行的に導入される江東図書館

ともに支えあい、健康に
生き生きと暮らせるまち

がん対策の充実

これまで、「がん対策推進計画」に基づき、積極的な施策の展開を図っていますが、来年度から胃がんが発生しやすい状態であるかを血液検査で判定する、胃がんリスク層別化検査を区内の医療機関で実施し、有リスク者については早期に医療受診へ誘導を行うなど、がんの早期発見やがんを予防するための生活習慣の改善など、がん対策の充実に取り組んでまいります。

民泊営業者への指導

民泊については、旅館業の営業許可を取得していない民泊営業者に対し、引き続き指導を徹底していくとともに、昨年条例を改正し、住民周知・フロント等の設置を義務付け、「区民の安全・安心」の確保に努めています。旅館業法の一部見直しなどの国の動向を注視し、今後も適正に対応してまいります。

福祉施策の充実・強化

高齢者施策では、「江東区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定作業を進めるとともに、地域包括ケアシステム構築をさらに推進してまいります。

障害者施策では、多くの方々からの意見を踏まえ、次期障害者計画および第五期江東区障害福祉計画を策定してまいります。

障害のある方や高齢者が安心して施設を利用できるよう、区内の障害者(児)および高齢者施設に、非常通報装置や防犯カメラの設置等の安全対策に要する費用を補助し、施設の安全性の向上を図ってまいります。

また、生活保護制度の適切・適正な運用と、生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談窓口を活用するとともに、貧困の連鎖を防止するため、生活保護受給世帯の生徒等に対して実施する学習支援事業などの生活困窮者自立支援事業を充実させていきます。



▲江東区地域包括ケア全体会議の様子

住みよさを実感できる
世界に誇れるまち

住まいの安全・安心を確保

住宅施策では、区営住宅において、計画的な長寿命化やバリアフリー化の推進を図ってまいります。

また、今後行われるマンション建設については良好な住環境構築を促進するよう、事業者に対する指導を行ってまいります。

オリンピックに向け、優しい
おもいやりのあるまちづくり

オリンピック・パラリンピックも見据え、困っている人を見かけたら自然に声をかけられる心を育むことで、「心のユニバーサルデザイン化」を推進し、誰もが安全・安心・快適に暮らせる、ユニバーサルデザインのまちづくりを拡充してまいります。

コミュニティサイクル実証実験は、平成29年度で実証実験期間が終了予定のため、本格実施への移行も含め、必要な検討を行っていくとともに、他区との広域連携は、さらにエリアが拡大しているため、今後も東京都を含めた関係機関との調整を図ってまいります。

2020年に向け、すべての公衆便所に最低一基の洋式便器を設置する公衆便所洋式化事業は、来年度も着実に進めてまいります。

区道の無電柱化は、東雲および辰巳地区内の会場周辺路線において、電線共同溝本体工事に着手します。区道の遮熱性舗装は、オリンピック

・パラリンピック開催に向けた暑さ対策の一つとして、競技会場周辺における区道において、工事に着手します。

橋梁の改修は、江東区橋梁長寿命化修繕計画に基づき、来年度は、引き続き雲雀橋の改修を進めるとともに、新たに新高橋の改修に着手します。

民間建築物の耐震化促進は、耐震診断が完了した物件に対して、耐震改修の働きかけを強め、まちの安全性向上に努めてまいります。

防犯対策は、街頭防犯カメラの設置推進や、防犯パトロール資機材の支給、リーダー研修会の実施などにより、犯罪の抑止および地域の防犯力向上を図るとともに「こうとう安全安心メール」でのタイムリーな情報発信に努めるなど、行政・警察・地域が連携した取り組みをさらに推進してまいります。



▲ポートも増え、より便利になったコミュニティサイクル

長期計画の実現に
向けての取り組み

長期計画の着実な推進

区に対する誇りと愛着を持っていただくこと、区を訪れる来訪者の方々に区の魅力を感じていただくことを目的に、昨年3月に「江東区ブランディング戦略」を策定し、周知に努めています。

また、行財政運営は「江東区行財政改革計画」を着実に推進しつつ、外部評価を活用した事業見直しや、新たな施策の創出などを通じ、長期計画の着実な推進を図ってまいります。

世界に誇れるまちづくり

東京2020年オリンピック・パラリンピック大会まで、あと3年となりました。世界に誇れるまち、未来の子どもたちに美しいまちを残すため、50万区民の信頼と負託に、意欲とスピードと思いやりを持って応えるとともに、基本構想が目指す江東区づくりにまい進してまいります。

世界結核デー

日本の罹患率は欧米の3〜5倍！
せきやたんが長引く時は医療機関の受診を

3/24(金)

WHO(世界保健機関)は、3月24日を世界結核デーと定め、各国に結核対策の強化を求めています。日本では過去の病気と思われがちですが、今でも欧米諸国の5倍近い罹患率があり、江東区でも毎年1000人程度の新規の結核患者の発生が報告されています。

結核と診断されたら

結核はきちんと薬を飲み続けられ治ります。治療は半年以上かかりますが、治るまで確実に服薬できるように、保健相談所では患者の方一人ひとりへ治療の支援をしています。心配な方は、管轄の保健相談所にご相談ください。

保健予防課感染症対策係

☎(3647)5879
FAX(3615)7171

ウミネコの被害防止に
繁殖期を前に防除網の設置など

ウミネコの群れが5〜7月下旬に、緑化されたマンションの屋上で巣を作り、産卵・繁殖して、マンションの周辺がフンや鳴き声の被害にあう事例が増えています。しかし、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」によって、むやみにウミネコを捕獲したり、卵を採取したりすることは禁止されています。被害を防止するには、繁殖期の前からの対策が必

「防除網等に関すること」東京都環境局自然環境部計画課

☎(5388)3505
FAX(5388)1379